

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	6		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	事業所内にはバリアフリーとなっておりますが、玄関には段差があるため状況に応じて職員が見守り、付き添っております。	引き続き見守りをおこない、転倒等がないよう努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		衛生管理に配慮し、日々の掃除と消毒を徹底し、気持ちの良い空間を提供できるように努めております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		児童の特性や体調に合わせて、個別の部屋を用意し、またバーテーションの活用など、児童に合わせた環境を用意し、使用するよう努めております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	6		毎日の朝礼で業務の連絡、療育内容の確認など話し合いの場を設けております。また月に一回リフレクション会議を実施し、支援の改善点、療育の計画など話し合う中で、職員が情報を共有し、共通理解に努めております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者様アンケート調査での評価をもとに保護者様のご意見を職員間で共有しながら、可能な限り業務改善へ繋げることが出来るよう努めております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		月に一回会議を実施し、日々の振り返りや業務改善について話し合い、共通理解に努めております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	個人情報の関係もあり実現できておりませんが、保護者様のご意向もつかないながら慎重に検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に全職員参加のもと研修をおこなっております。参加できなかった職員も閲覧できるような内容を記録し、資質向上に努めております。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		公式Webサイトに公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、児童の支援に関わる職員が共通理解の下で、児童の最善の利益を考慮した検討をおこなっております。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	
	14 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		個別支援会議などで計画内容を把握し、計画に沿った支援ができるよう職員で話し合い、目標に合わせた療育をおこなっております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		統一されたアセスメントシートを使用し、保護者様から聞き取った情報をもとに支援計画の作成へと繋がっております。	
適切な支援の提供	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		児童・保護者様のご意向や課題を踏まえたうえでガイドラインに沿い、支援に必要な項目を選択して個々に合った支援計画を作成しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		児童の特性や課題に応じて、活動プログラムを話し合い、チームで立案、役割分担し、協力して支援をおこなっております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	習慣化と定着をめざし、繰り返しの療育をおこなっておりますが、日々の記録から進捗を確かめ、児童の発達や成長に適した個別の課題を考えております。	基本プログラムを軸に、製作やイベント、運動等、個別活動や集団活動を組み合わせながら、楽しく意欲的に活動ができるよう工夫してまいります。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別療育を基本としておりますが、社会性を育むための集団活動も取り入れ、児童の特性に応じた支援計画を作成しております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝、必ず打ち合わせをおこない、その日の支援の内容や役割分担、環境設定などをおこなっております。また、共通認識を持って支援にあたるよう情報共有をおこなっております。	
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6		支援終了後に全職員での打ち合わせが難しい場合は、翌日の朝礼で必ず報告し、情報共有しております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援内容やその日の体調等を必ず記録に残しております。また気がなつたことは職員間で共有することで支援の改善や検証に取り組んでおります。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングをおこない、児童の成長や変化、課題等を把握して見直しの必要性を判断しております。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6		対象児童について職員間で話し合い、サービス担当者会議には児童の状況に精通した児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		2か月に1回の子ども部会、月に1回の通所分科会に参加し、助言を受けるなど、情報を得ております。	
関係機関や保護者との連携	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保育園、幼稚園とも密に連携を図り、よりよい支援ができるよう児童の様子や日々の支援について情報を共有し、相互理解を図るよう努めております。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		就学前に学校で相談員や各関係機関とともに会議をおこない、情報共有と相互理解を図っております。	
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会なども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6			
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	現時点では事業所主催の交流の機会は企画できておりません。	個人情報の関係もあり実現できておりませんが、保護者様のご意向もつかないながら慎重に検討してまいります。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳でのやりとりや送迎時、お迎えの際に保護者様に様子をお伝えし、共通理解を持って良い支援へと繋がっているよう努めております。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	保護者様からのご相談は丁寧に聞き取り、助言やご提案をさせていただいております。	今後も保護者様のニーズに応じていけるよう、寄り添った支援をおこなってまいります。
	保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に重要事項説明書、契約書に基づき説明をおこなっております。また、ご質問にも丁寧にお答えしております。
36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		6		モニタリングや家族支援の中で、保護者様からご家庭の様子や学校での様子の聞き取りをおこない、利用児童の課題や今後の方針を決めたくうえで支援計画の作成をおこなうよう努めております。	
37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。		6		支援内容を説明する際には支援計画を提示し、保護者様と意思疎通を図りながら丁寧な説明、同意をいただけるよう努めております。	
38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		6		連絡帳や送迎時にいただくご相談は丁寧に聞き取り、適切な回答、必要な助言や支援に努めております。	
39 父母会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			6	現時点では保護者会の開催はできておりません。	保護者様の個々のニーズをうかがい、ご意向を踏まえたくうえで、保護者様同士の交流に関して協議・検討してまいります。
40 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		6		ご相談やお申し入れについては迅速に対応できるように配慮しております。また苦情へのご相談窓口も設けており、契約時にご説明しております。	
41 定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		6		季節ごとにCOMPASSだよりを発行しております。毎月配布する事業所カレンダーには療育の様子、遊びの様子、行事の様子を掲載しております。また、事業所の活動が公式Webサイトのブログで紹介されております。	
42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。		6		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		6		児童の特性に適した意思の疎通や情報伝達を用い、保護者様へも専門用語を避けたり分かりやすい情報伝達を心がけております。	
44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。			6	現時点では地域住民をご招待する機会を設ける事業運営はできておりません。	個人情報の関係もあり実現できておりませんが、保護者様のご意向も向いながら慎重に検討してまいります。
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各マニュアルは室内に掲示しております。また年間計画を立て、児童とともに避難訓練を実施しております。	
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年間計画を立てたくうえで定期的に地震、火災、風水害を想定した訓練を実施しております。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		標準化されたアセスメントシートを使用して、状況の把握に努めております。尚、服薬に関しては全事業所統一で作成した与薬依頼書を使用しております。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		利用児童のアレルギーについては契約時に保護者様から聞き取りをおこない、全職員で周知、対応しております。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、定期的に研修や避難訓練をおこなっております。また事業所内設備や車両の点検、備品などの確認も定期的におこなうよう努めております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		避難訓練を実施した際には保護者様にも状況をお知らせしております。また、避難場所に関しては全事業所にも書面で保護者様に配布しております。	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6		ヒヤリハットがあった際には報告書を作成し、職員間で話し合いの場を設けております。職員間で協議を一致させることで、再発防止につながるよう努めております。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止委員会を設置し、虐待に関する研修を全職員がおこなひ、虐待防止の理解と意識向上を図っております。	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し、解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		契約書に身体拘束の禁止について記載しており、生命または身体を保護するために、やむを得ず必要な場合を限定するため、保護者様の承諾を得るようし、個別支援経過記録にも記載しております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。